

令和5年度通学路危険箇所調査一覧表

学校名	通番号	区分	路線名	該当箇所	危険内容	対応部署	令和4年度以前対応内容	令和5年度対応内容
牛久小学校	1	新規	市道13号線	新地 槽自動車から茎崎方面へ向かう道路	道幅が狭いうえに、見通しが悪く、交通量も多いため危険である。 草木が生い茂るため、それも危険。 左カーブで、より坂になっているところは、土の斜面がむき出しで、土砂崩れ等の危険がないか心配である。	道路整備課		民地法面の為、通行に著しく支障が生じた場合は土地所有者に通知する
牛久小学校	2	継続	城中田宮線 市道23号線	・牛久土浦バイパス 遠山町から城中町の区間。	6号線龍ヶ崎方面に抜ける牛久小西側の道路では、交通量が大幅に増加している。城中方面から通学する児童が、交通量の多い信号のない交差点を横断しており、危険である。	警察 地域安全課 道路整備課	信号機の要望を継続していく	信号機の要望を継続していく スクールゾーン表示の場所を選定する。
牛久小学校	3	新規	城中田宮線 市道23号線	牛久小西側道路・歩道	6号バイパス開通にともない、三叉路から牛久小学校西門前の横断歩道、セブンイレブン刈谷交差点に続くスクールゾーンの交通量が増えたため、安全強化が必要。	地域安全課 道路整備課		交差点や横断歩道箇所に車止め設置